

「フラテ」原稿

2013年

平成 25 年度から新しいスタッフや大学院生も増えて、神経生理学分野は今年も元気いっぱいです！さらに学部学生も頻繁に出入りして、実験室にこもりがちな我々にいい刺激をあたえてくれています。では例年通り、ラボの皆さんからのコメントを順に紹介します。

田中 真樹（教授）

平成 25 年 11 月で教授就任 3 年となりました。この一年の出来事を思いつくままに挙げてみます。① 松嶋院生が学位を取得し、春から MD-PhD 特任助教となりました。大学院時代の業績に対して、北海道大学大塚賞、ロレアルユネスコ女性科学者日本奨励賞をいただき、プロの研究者としてよいスタートを切ったと思います。今は留学に向けて着々と準備を進めています。② 今春から技術補助員の弘中さんがメンバーに加わりました。午前勤務の森さんと交代で、毎日午後に来ていただいています。動物好きでサルの扱いにも大分慣れてきたようで、研究室の大事な戦力になりつつあります。③ 2 年半いたエリトリア出身のアフォナが修士課程を修了しました。母国の事情で学位授与式を待たずに日本を去ってしまいましたが、元気で過ごしていることでしょう。④ MD-PhD コースの植松さん、松山くんが無事に国試に合格し、春から博士課程に進学しました。短縮修了を目指して、サルと格闘しています。⑤ 医学部 5 年生の鈴木くんが新たに MD-PhD コースに進みました。現在は忙しい臨床実習の最中ですが、毎日夕方に現れてはコツコツと実験を進めています。⑥ 研究の方では、阪大の先生を中心に新学術領域研究「こころの時間学」を立ち上げ、時間知覚に関した 5 年間の研究を進めることになりました。また、京大の先生と神経内科との共同研究が武田財団の特定研究に選ばれ、サルへの遺伝子導入などに挑戦する予定です。当分野では昨年に引き続き、医学部 5 年生の新田くんと大学院生が中心となって英文教科書の輪読会を開催しています。短い時間ではありますが、多数の医学部生が毎週参加してくれていますし、教育学院の竹谷くんをはじめ、他学部からも参加者がいます。若い力と新しい発想で教室をますます盛り上げてくれることを願っています。私生活の方は、娘が高校に上がったくらいでとくに変化もなく、たまに息子と釣りに行くのを楽しみにしています。あと、この齢になって急に近視と乱視がひどくなり、生まれて初めて眼鏡を買いました。念のため、これは老眼鏡ではありません。山野辺 貴信（助教）

論文執筆が続く日々を送っています。レビューアーから、本当に鋭いコメントが返ってくると思わず笑いが出るようになりました。余裕が出てきたのか、冷や汗を誤魔化すのに笑いが出るようになったのかは分かりません。

國松 淳（助教）

助教になって2年目になり、今年度からすこしながら学部や大学院の講義も担当させてもらっています。いい加減なことを言うてはならないと思って内容を確認しているうちに、講義前夜まで準備に追い込まれて学生時代の試験前を思い出しちゃったり。研究に関しては、来年度にアメリカに留学することを予定しているため、それにむけて実験を急いだり、データをまとめたりしています。あとは、英会話も習得しないといけないのですが、こちらもいちからといった感じでなかなか進みません。

クルキン・セルゲイ（助教）

I am from Russia, my home city (Rostov-naDonu) is 400 km to the North from Sochi where the 2014 Winter Olympics will be held. After I earned my PhD degree in biophysics from the USSR Academy of Science, I worked on the computer model development for the Soviet space programs in A.B.Kogan Institute for Neurocybernetics..

Since 1995 I joined the Hokkaido University Graduate School of Medicine. I applied my skills in computer modeling and simulation to study the neural mechanisms of eye movement control. I developed the programs for 3D virtual targets presentation, data acquisition and analysis.

My teaching duties include the lectures in Physiology and Basic Medical Biology. Also I am responsible for EEG practice for 3rd grade medical students.

In younger age I played football, but after knee injury I chose more quiet activity as a golf and cross-country skiing.

松嶋 藻乃（MD-PhDコース特任助教）

3月に院を卒業し、4月から助教として勤めさせて頂いています。MD-PhDコースのスタートとして、あまり恥ずかしくない結果になり、ほっとしています。助教となって初めて先生付けで呼ばれたときは、新卒のイジメかと思いましたが、だんだん慣れて、気にしなくなってきました。身分も地位も関係なく、より上を目指して頑張ります。吉田 篤司（博士4年、学振DC1）

行動課題中の慢性動物の単一神経活動の記録、薬理学的局所活性化／不活化を行い、大脳基底核の機序の解明を行なっています。また、小脳変性症患者さんを対象とした脳画像解析を行っています。学位習得に向けて日々精進しています。

竹谷隆司（教育学院、博士2年）

教育学院は特殊教育・生理心理学分野で、事象関連電位を用いて視覚的注意の研究をしています。最近新しい脳波計のセッティングをさせてもらい、とても勉強になりました。MatlabとMatlab上で脳波などの解析ができるEEGLABを勉強中です。行列ってなんだろう。

植松 明子（博士1年、MD-PhDコース）

雪道を上手に歩く方法がわかってきたような気がします。研究がんばります。よろしくお願いいたします。

松山 圭（博士1年、MD-PhDコース）

長かったようで短かった学部生の期間も終わり、今年の四月にMD-PhDコースで博士課程に進学しました。自分の研究にもいろいろなことが起こり、一筋縄ではいかない研究の難しさと面白さを感じました。今後もどんどん実験を進めていきたいと思っています。来年の目標はこの原稿を書くまでに最初の論文を投稿していることです。僕と同期の方も、札幌に戻って来た時には、二生理に遊びに来てくださいね。

鈴木智貴（医学部5年、MD-PhDコース）

北部食堂を出ると、見たことのない大きな鳥が歩いていました。羽は白と、灰色をしていました。よろしくお願いいたします。

新田 統昭（医学部5年）

編入から早3年、あと1年半足らずで卒業かと思うと少し寂しいです。神経生理学の英語教科書の輪読会が始まって1年半以上が経過しましたが、学部生の皆さんのやる気と、院生、助教、田中先生のサポートのおかげで、座る場所に困るほどの盛り上がりです。興味のある方はぜひご参加下さい。私個人に関しては、北大小児科神経班の先生方のご厚意で臨床系の学会にも参加するようになり、将来の方向性がちょっとずつ見えてきたような気がします。

伊藤 健史（医学部3年）

こちらの教室で開催されている教科書の輪読会や論文抄読会に参加させていただいているうちに、田中先生のご好意で机を用意していただき、以来お世話になっています。先生方や先輩方の実験の見学やお手伝いを通して知識の吸収に務めています。

鈴木 真理（技術および事務補助員）

北海道生活も15年になりました。年々、寒さが身に沁みますが、夏はキャンプに釣りに恵まれた自然を満喫しています。研究室には、続々と優秀な学生が集まり活気があふれ嬉しい限りです。最近、母親目線で学生さんたちを見るようになり、自分の年齢を実感します。。。

弘中愛（技術補助員）

アインシュタイン・ドームで静かにたたず

む4つのレリーフを思い起こさせてくれるがごとく、日夜、真摯に果敢に研究に勤しんでおられる分野の先生方々。希薄な人間関係と形骸化した社会、こんな世界をまだ信じてみよう懐疑的な私たちを日々、リアルなロック・アンセムで鼓舞してくれるのです！

森 智子（技術補助員）

こちらで仕事をさせていただくようになってから、あっという間に2年が過ぎようとしています。次々と新しい出来事が起こり、毎回施行錯誤しています。

他にも毎週月曜日の輪読会にいろいろな学部の学生が参加していますし、教室伝統の水曜抄読会には他分野や、勤務医の先生が参加してくれています。以上、新しいメンバーも、ずっといるメンバーもそれぞれに目標を持って充実した日々を送っています！

(文責：國松)